

平成21年千葉市教育委員会会議
第1回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成21年千葉市教育委員会会議第1回定例会会議録

日時 平成21年1月28日(水)

午後3時00分開会

午後3時50分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 津田 英彦
 委 員 奥山 福子
 委 員 岩沼 静枝
 委 員 内山 英夫
 委 員 梅谷 忠勇
 教 育 長 飯森 幸弘

出席職員 教 育 次 長 小川 隆 教育センター所長 菊地 明
 教 育 総 務 部 長 武田 昇 養護教育センター所長 穴倉 喜巳
 学 校 教 育 部 長 岩切 裕 生涯学習部参事(生涯学習振興課長事務取扱) 本庄 賢一
 生涯学習部長 河野 正行 社会体育課長 小川 重夫
 教育総務部参事(総務課長事務取扱) 青葉 正人 青少年課長 村松 好晴
 教育総務部参事(企画課長事務取扱) 山崎 正義 中央図書館長 田口 幸男
 学校財務課長 豊田 英男 総務課総括主幹 伊藤 太一
 学校施設課長補佐 渡辺 康弘 学事課調整主幹 山本 和豊
 学 事 課 長 吉田 進 生涯学習振興課調整主幹 海保 英利
 教 職 員 課 長 時田 猛 総務課主幹 杉江 達也
 指 導 課 長 小池 公夫 総務課主幹 山田 輝夫
 保 健 体 育 課 長 嶋田 信昭

書 記 総務課長補佐 大崎 賢一 総務課副主査 小池 正彰
 総務課総務係長 藤代 真史 総務課主事 犬飼 綾
 総務課人事係長 内山 健 総務課主事 河瀬 伸也
 総務課経理係長 高橋 義浩

- 1 開会
津田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
津田委員長より岩沼委員を指名
- 4 会期の決定
平成21年1月28日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 議事の概要
 - (1) 非公開事項の決定
議案第1号及び協議事項(1)を非公開審議とする旨決定
 - (2) 報告事項
報告事項(1) 全国規模の大会・コンクール等における児童生徒表彰について
指導課長より報告があった。
報告事項(2) 「お弁当の日」の実施状況等について
保健体育課長より報告があった。
報告事項(3) 平成21年度千葉市成人の日を祝う会について
青少年課長より報告があった。
 - (3) 議決事項
議案第1号 千葉市青少年センター運営審議会委員の委嘱について
青少年課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
議案第2号 千葉市学校教育推進計画（案）及びパブリックコメント手続の実施について
下記、「協議事項（1）千葉市学校教育推進計画（案）」について協議が行われた後、教育長動議により議案として議事日程に追加。審議の結果、全委員異議なく、原案どおり可決した。
 - (4) 協議事項
協議事項(1) 千葉市学校教育推進計画（案）について
企画課長より参考説明の後、協議が行われた。
 - (5) 発言の要旨
報告事項(1) 全国規模の大会・コンクール等における児童生徒表彰について
津田委員長 指導課長、報告をお願いします。

指導課長 報告事項(1)「全国規模の大会・コンクール等における児童生徒表彰について」報告します。今年度も本市児童生徒が様々な大会・コンクール等で優秀な成績を収めており、全国1位を1人と2団体、全国2位を3人が受賞しております。まず、「●●小学校6年 ●●●」が昨年度に引き続き、「そろばん」で素晴らしい成績をあげました。「全日本ユース珠算選手権大会 アンダー12の部」での優勝をはじめ、「七夕そろばんワールド2008 小学校6年生の部」で総合優勝するなど輝かしい成績を収めております。次に椿森中学校ですが、今年の夏から今年にかけて、椿森陸橋交差点下の歩行者通路壁面に壁画を描いたもので、日本塗装工業会主催の「第10回グッドペインティング・カラーコンクール」において、落書き防止賞の大賞を受賞しました。このコンクールには全国から63作品の応募があり、「大賞」はその第1位にあたるものです。次に、緑町中学校科学部ですが、「第49回自然科学観察コンクール」において、文部科学大臣奨励賞を受賞しました。科学部の7名が取り組んだテーマは「湯むきの科学～トマトの皮はなぜ湯むきできるか」です。この研究は、トマトを湯に入れる前後の皮や実の細胞の変化を詳しく観察し、トマトの皮の構造が三層の構造であることを発見し、そのことが湯むきをしやすくしていると結論付けたものです。なお、この研究を指導した科学部顧問が指導奨励賞を受賞しています。表彰式は2月7日に予定されております。次に「●●小学校5年 ●●●●」が「関孝和先生顕彰第59回全日本珠算競技大会」の読上算競技と読上暗算競技で二等、「七夕そろばんワールド2008 小学生の部」で準優勝の成績を収めております。「●●●●中学校2年 ●●●●」も昨年に引き続き「関孝和先生顕彰第59回全日本珠算競技大会」の読上算競技と読上暗算競技で二等、「七夕そろばんワールド2008 中学生の部」で準優勝の成績を収めております。次に、「●●中学校1年 ●●●●●●●●●●」が「第41回埼玉全国舞踏コンクール2008」クラシック2部において全国第2位に相当する県議会議長賞を受賞しております。また、「ソニー子ども科学教育プログラム」において、小谷小学校と新宿中学校が優秀プロジェクト校となりました。

報告事項(2) 「お弁当の日」の実施状況等について

津田委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

保健体育課長 報告事項(2) 「『お弁当の日』の実施状況等について」報告し

ます。「お弁当の日」は、今年度制定しました「青少年の日」「家庭・地域の日」に関する取組みの一環として実施したものです。実施日は1月19日の月曜日、当日が振替休日となる学校が小・中それぞれ1校ありましたので、小学校119校、中学校56校、特別支援学校2校の合計177校での実施となりました。当日は保健体育課より、小・中各1校の視察を行いました。松ヶ丘小学校では、仲の良いグループで食べたり、教室で輪になって食べたりするなどの工夫をしていました。また、低学年でも、自分で弁当を作った児童もおりました。なお、弁当を忘れた児童が1人おりましたが、栄養職員が家庭科室でおにぎり等を作り、その児童に渡すという対応をとりました。葛城中学校では、部活動の朝練習を全て中止し、生徒が弁当を作る時間を確保しました。各教室を回り生徒からの聞き取り調査を実施したところ、学年が上がるにつれて自分一人で弁当を作ったとの生徒が増えていました。弁当を忘れた生徒は3人おりましたが、担任が家庭に連絡し、学校で仕出し弁当を注文する対応をとりました。その他、各学校への聞き取り調査や保護者からの電話等により、「親子のコミュニケーションがとれてよかった。」「弁当作りのため早起きした結果、充実した内容の朝食を食べることができた。」「準備や後片付けがないため、ゆっくりと食べることができた。」「共稼ぎのため、子どもと一緒に作ることができなかった。」「実施前にアンケートをとる等、保護者の声を聞いてほしかった。」「受験時期であるため考慮してほしかった。」等の意見がありました。なお現在、教員に対しては、全小・中・特別支援学校を対象に、保護者及び児童生徒に対しては、各区小学校3校、中学校1校の計小学校18校、中学校6校及び特別支援学校1校を対象にアンケート調査を実施しており、それらの意見要望等を踏まえて、次年度以降の方針等を決定していこうと考えています。

奥山委員 我が家のことをここで話しするのは恐縮ですが、子ども達は中学生の時から6年間、運動会や遠足のときは別として自分でお弁当を作っていました。お弁当作りをとおして、時間の使い方等を考えることが自然に身に付き、子どもの生きていく土台のような自信にもつながったかと思います。一方、お弁当は母親が毎朝作って持たせるべきものだとの意見もあります。どちらがよいということではなく、各家庭での子どもの育て方全般に渡る考

え方、ポリシーの問題と思いますが、それを考えるきっかけのひとつとなるのが、このお弁当作りではないでしょうか。その家ごとに様々な意見があり、絶対と言えるものはないと思いますが、子どもの育て方についての考え方が出来上がっていくことになればいいのではないのでしょうか。

報告事項(3) 平成21年千葉県成人の日を祝う会について

津田委員長 青少年課長、報告をお願いします。

青少年課長 報告事項(3) 平成21年1月12日に千葉ポートアリーナで実施されました「平成21年千葉県成人の日を祝う会について」報告します。今回の対象者は9,332人で昨年より97人増、当日式典参加者は6,328人で、参加率は67.8%、昨年より330人の増でした。式典の内容についてですが、千葉県教職員合唱団「夢と虹」による「大地讃頌」の合唱、千葉ロッテマリーンズのボビー・バレンタイン監督、シドニーオリンピック金メダリストの高橋尚子さん、本市出身の俳優 永島敏行さんなど5人のビデオメッセージの紹介、第6回千葉県芸術文化新人賞を受賞した徳田雄一郎さんのミニコンサート等を行いました。また、「花の都・ちば」のPRを兼ね、市内小学校児童の手により作られたトピアリーを3基、会場に設置しました。

議案第1号 千葉県青少年センター運営審議会委員の委嘱について

委員長 青少年課長、説明をお願いします。

青少年課長 議案第1号「千葉県青少年センター運営審議会委員の委嘱について」説明します。千葉県青少年センター運営審議会委員の辞任に伴い、千葉県青少年センター運営審議会規則第3条第1項の規定により新たに委員を委嘱しようとするものです。委嘱は平成21年1月28日を予定しており、委嘱期間は前任者の残任期間の平成21年11月30日までです。委嘱する委員は、山谷恒樹様です。附属機関の概要についてですが、名称は千葉県青少年センター運営審議会、設置目的は、千葉県青少年センター設置管理条例第9条に基づき、青少年センターの管理及び運営に関する事項について審議することです。委員定数は規則上15人ですが、現在10人の委員を委嘱しており、任期は2年です。委員の構成は学識経験者、利用者代表、青少年団体代表、小中高等学校長代表です。今年度の主な活動内容ですが、7月1日に第1回審議会を開催し、3月4日に第2回審議会を予定しています。

協議事項(1) 千葉県学校教育推進計画(案)について

委員 長 企画課長、説明をお願いします。

企画課長 協議事項(1)「千葉市学校教育推進計画（案）について」説明します。この計画案は、先般「千葉市学校教育推進計画懇話会」の答申を受け、庁内協議による調整を踏まえて策定したもので、2月1日より、約30日間にわたりパブリックコメントを実施する予定です。先ず、計画策定に至る過程ですが、平成19年4月開催の定例教育委員会会議において、計画策定の考え方及び計画策定に向けたスケジュール等について説明し、8月には、学識経験者、公募による市民及び関係団体の代表者等からなる、「千葉市学校教育推進計画懇話会」を設置し、「千葉市学校教育推進計画のあり方」及び「千葉市学校教育推進計画（案）」について、諮問しました。その後、9月から10月にかけて、児童生徒・保護者・教職員・市民等を対象に、「学校教育に関する意識調査」を実施し、計画策定のための基礎データを集約しました。この意識調査の結果等を踏まえ、6回にわたる懇話会の審議を経て、昨年4月に懇話会より「千葉市学校教育推進計画のあり方」の中間報告をいただきました。中間報告の後、6月から7月にかけて区民説明会を実施し、その内容を広く市民に知らせていくとともに、参加された延べ約500人の市民の方々から、さまざまな意見、要望をいただきました。その後8月から10月にかけて、区民説明会での意見などを踏まえ、具体施策や、アクションプラン、達成指標等について、引き続き懇話会で審議をしていただき、平成20年11月25日に、「千葉市学校教育推進計画（案）」として答申をいただいたところです。この間、中間報告の内容や、区民説明会の開催状況、答申案の概要等について、教育委員会会議で、その都度説明しました。次に計画の内容ですが、千葉市の目指すべき子どもの姿である「夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども」の実現に向け、学校、家庭、地域、行政の役割を踏まえ、8つの施策展開の方向と、22の基本施策、54の具体施策を体系化するとともに、具体的な事業として、162のアクションプランを計画に位置付けています。主な新規事業ですが、新しい学校教育のあり方として「小中一貫教育の推進」、最近社会問題化している、ネット上のいじめへの対応、校務のIT化、学校問題解決支援体制の整備、学校支援システムの整備、中学校夜間学級の設置、ボランティア等の取組みを支援するために「夢・思いやり・チャレンジ基金」の設置などを位置付けています。これ

らはいずれも、懇話会の中でその重要性が指摘されたもので、ご意見を基に、庁内での調整を踏まえ、計画案に組み入れたものです。次に、答申の内容からの変更点が3点あります。1点目として、ネット上のいじめへの対応を含め3つのアクションプランを新たに位置付けています。2点目として、「達成指標」を分かりやすく見直しをしています。3点目として、「第4章 計画の推進にあたって」に、より実効性のある計画とするため、庁内に計画推進のための機関を設ける旨を明記しています。「達成指標」については、次の3つの観点から修正を加えています。1つ目は、平成19年度値の置換えです。答申時点で平成20年度の実績が出ていなかったものについては、19年度の数値を仮に置いておりましたが、今回20年度の実績値が確定しましたので、数値を置き換えています。2つ目は、平成21年度の「達成指標」ですが、パブリックコメントの時点で数字が確定していない箇所については「→」表記の状態で行ったパブリックコメントを実施し、予算が確定次第、具体的な数値を掲載します。3つ目は、施策の内容に照らして「達成指標」の見直しを行ったものです。例として「国際人を育てる国際理解教育の推進」ですが、これまで具体指標を掲げておりませんでした。今回新たに、「英検2級合格率」との「達成指標」を設定しています。パブリックコメントの手続きですが、この計画案については、千葉市のホームページで公開するとともに、市政情報室、各区役所の総務課、市立図書館及び学校教育の推進計画ということから、市立の小・中・特別支援・高等学校でも閲覧できるようにしています。パブリックコメントは、2月1日から3月2日までの30日間実施します。市民への周知については、「ちば市政だより」2月1日号、「教育だよりちば」73号にこの情報を掲載し周知を図ります。併せて、子どもたちを通じて各保護者に配布する「教育だよりちば」臨時号を発行します。今後の予定ですが、パブリックコメントによる意見等について調整をした後、3月下旬に、計画の最終案を改めて教育委員会会議に付議して議決をいただき、3月末までに策定したいと考えています。なお、本計画案の策定者についてですが、改正教育基本法における「地方公共団体は、地域の実情に応じ、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない」との規定と、本計画の中に、市長部局の施策が多く取り込まれていることから、千葉市と千葉市教育委員会を併記し

たものです。

委員 このような計画策定にあたっては、できるだけ学校や児童生徒に身近な人たちが関わっていくことが大切だと思います。以前は、教育分野の専門家が、第三者的な立場で計画を作り、その後はあまり読まれていないといった状況が多分にあったように思いますが、様々な立場からの意見を取り上げ、実際的に読まれ、実行に移していけるような計画策定をお願いしたいと思います。

教育長 本件については、これまで何度か各委員にご議論いただきましたが、事務局からの説明にありましたように、市民の方々のご意見をいただくパブリックコメント手続きを実施したいと考えております。そこで、計画案を確定させて、これを公表し、パブリックコメント手続きを実施することについて、本日議案として提出したいと考えております。ついては、議案第2号として、「千葉市学校教育推進計画（案）及びパブリックコメント手続きの実施」の議事日程追加をお願いしたいと考えます。

議案第2号 千葉市学校教育推進計画（案）及びパブリックコメント手続きの実施について

委員長 既に本案件については、協議事項(1)として事務局より説明を受け、審議等も行っていますが、このほか質問、意見等何かありますか。

委員 「教育だよりちば」臨時号の「『千葉市学校教育推進計画（案）』の概要」を見ると、専門的な用語が使われており、一般の市民・保護者の方には分かりにくいものになっているのではないかと感じられます。臨時号については時間的にやむを得ませんが、今後は一般の市民・保護者にも分かりやすく、親しみの持てる表記にしていただければと思います。そのことで、パブリックコメントにかけても意見が出やすいものになるのではないのでしょうか。

企画課長 掲載内容ですが、今回パブリックコメントを実施するため、計画案の中身がより明確にわかるよう、個別の事業が中心になっていることから、分かりづらい点があるのではないかと思います。パブリックコメントを経て、3月の定例会で議決いただき、本計画を策定した後の教育だよりにおいては、ご指摘を踏まえ、より分かりやすい紙面とするよう検討したいと思います。

7 その他

(1) 奥山委員から、打瀬中学校の状況について質問があった。これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

奥山委員 打瀬中学校の状況は、現在どうなっていますか。改めて伺いたいと思います。

企画課長 前回の会議などでも報告しておりますが、新年度予算に「増築」という形で要望を上げています。最終的な内示がありませんので結果はまだわかりませんが、教科センター方式を維持しながら増築で対応するとともに、第二グラウンドを整備するとの予算要求をしております。予算が確定次第報告します。

奥山委員 委員会としての計画を変える必要が出てくるようなこともあるのでしょうか。

企画課長 それは現状では何とも言えませんが、委員会としては、教科センター方式が非常にいい形で継続していることから、教科センター方式を維持しつつ増築を行いたいと考えています。

(2) 岩沼委員から、子どもを取り巻く携帯電話に関する問題について質問があった。これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

岩沼委員 先ほど、子どもを取り巻く携帯電話に関する問題についての講習を受けましたが、本市教育委員会でもこのような講習会が実施でき、有意義であったと思います。この講習内容を受け、現在の本市の対応で抜け落ちている事項や、より重点的に対応すべきと判断した事項等があったのでしょうか。

指導課長 講習会で紹介された教材「ちょっとまってケータイ」ですが、本市では独自に、別途購入し全小中学校に配布しました。使用状況についての調査は、特別実施しておりませんが、聞き取りを行った中では、学年全体で使用している、学級時間の中で回覧して使っている、保護者が使用した等の結果があります。本日の講習でも、携帯電話に関する問題については、「知らせる」ことが非常に大事である、とのことでしたので、今後更に使用を働きかけていきたいと思っています。

岩沼委員 使用実態についてはぜひ調査を行い、各学校における取組み実態を把握していただきたいと思います。

(3) 次回第2回定例会は、事務局において日程を調整の上、開催日時を決定することとした。

8 閉会

津田委員長より閉会を宣言